

中秋を代表する日本の風景「新更科」



月の都賞の写真と羊羹の切り口で紹介

とらや東京ミッドタウン店 企画展 「赤のちから一色に托す願い」

さらしなルネサンスが2023年に行った写真コンテストの月の都賞作品が、老舗和菓子のブランドとらや東京ミッドタウン店で展示され、見に行ってきました。とらやに江戸時代からある「新更科」という菓名の羊羹と月の都賞写真のイメージがぴったりなので、来店者に見てもらいたいと連絡があり、受賞者の中学生柏原光さんとご家族の了解を得て、展示が実現しました。

この展示は、日本の伝統文化をとらやの和菓子とからめて紹介する「赤のちから一色に托す願い」という企画展の一部。柏原さんの写真がとらえた明け方の冠着山（姨捨山）のシルエットと朝焼けの様子が、展示ケースの中に入った羊羹の切り口のデザインと色に重なります。羊羹の赤色は、深まる秋を象徴的に表したものだそうです。写真を見た人は羊羹の味がさらにおいしくなると想像しました。

とらやの羊羹は、日本の季節の風景をモチーフにしたものが多く、「新更科」は中秋前後の限定商品。そのため写真の展示も10月初旬までだそうです。「買い求める方が大変多い商品です」という販売スタッフの言葉がうれしかったです。企画展自体は2026年2月25日まで。



企画展協力としてさらしなルネサンスも記載されていました



企画展「赤のちから一色に托す願い」の展示会場。「新更科」の羊羹と柏原光さんの写真は中央奥、赤いタイトル幕の左隣にあります



中秋の前後限定販売の「新更科」（左）。その右に季節限定羊羹の見本が並んでいます

ケースの中に羊羹の「新更科」。上に月の都賞を受賞した柏原光さんの写真